

点訳と音訳に興味のある方、一緒に学んでみませんか？

■ 活動する地域

山口県下関市

■ 団体名

山口県点訳音訳ボランティア連絡会

■ 基礎データ

継続年数	53年
活動分野	情報保障
主な対象	視覚障害
主な連携先	社会福祉関係団体、図書館等
団体の規模等	会員350名

活動の概要

50年以上にわたり、視覚障害者の情報保障に関わる活動を行っています。視覚障害特別支援学校や図書館と連携しながら、視覚障害者への学習保障や情報保障についての取組を続けています。

■ 活動の内容

点訳は、活字を点字に訳すこと、音訳は、活字を音声に訳すことを言います。本団体は、県内点訳・音訳ボランティア団体が加盟する全県的な団体です。

事業内容としては点訳・音訳の研修に関すること、県内の社会福祉関係団体及び県内の図書館等の連絡調整に関すること、点訳図書を選択、研究や調査に関することに取り組んでいます。また、県内における点訳・音訳、その他の視覚障害者への福利厚生事業も行っています。

点訳講習会、音訳講習会を定期的に開催し、人材の育成に取り組んでいます。パソコン点訳や英語点訳にも対応しています。

県内で点訳指導員、音訳指導員の育成を行っています。全国規模の講習会にも、多数の会員が参加し、講習会を通じて意識向上や技術向上を目指しています。

行政（パンフレット等）や個人からの点訳・音訳の依頼にも対応しています。



写真1 視覚障害や点字についての講演会の様子

■ 活動の経緯・体制

初代会長が町立図書館勤務時（昭和35年）、点字図書を初めて見て衝撃を受けたことが会の出発点になります。その後、初代会長が点字図書館で展示を学び、昭和37年4月に「点訳麦笛の会」を発足させました。県下各地に点訳グループが誕生し、昭和43年に「山口県点訳友の会」が発足して現在に至っています。

■ 活動の効果・普及状況

平成23年に行われた第11回全国障害者スポーツ大会において、県陸上競技場、スポーツセンターの案内の点字冊子と音訳CDの作成をしました。平成27年には下関南総合支援学校（旧盲学校）の110周年記念誌の点訳・音訳を行いました。現会長は、下関南総合支援学校の学校運営協議会の委員でもあります。

■ その他（団体紹介や参考情報等）

もっと気楽に連絡会に依頼や相談をいただけるようにしていきたいと思っております。



写真2 講演会の様子（約80人が参加）